

アマダイ通信NO. 155

(Tile fish network letter)

2025年 秋さやか

知人・友人各位

冷戦体制が崩壊、市場はグローバルに。資本はフロンティアに活路求め、途上国から安い製品が殺到、先進国の中間層は解体、政情は不安定化。ロシアの隣国侵略、イスラエルの暴虐も続く。豊かになった途上国では中間層が形成、自由と平等、民主政を求める。地理的フロンティアが消え資本は IT、AI と異次元への拡大で新フロンティアを目指す。内燃機関の発明による産業革命、石油・電気のエネルギー革命、情報通信革命と技術革新でフロンティアを創出、競争のステージが変わり資本主義は延命。正・反・合と局面を変え格差を広げ資本主義は永続するのか？AI が全ての仕事を容易にし誰でも、何でも出来れば生産性は上る。成果は誰が得るのか？強欲マスクやトランプの独占か？働く者か？

◎富士フィルムに「爆弾」を！

この2月 NPO 法人「バングラデシュの村を良くする会」(PUS) のバングラデシュスタディーツアーに参加。かつて途上国の旅では富士フィルムのインスタントカメラを携行、写してその場で感光、手渡しすると喜ばれた。家電量販店で今も海外でも人気の富士のインスタントカメラ「チェキ」を久し振り手にする。1万円ほどの本体は手に入るが、10枚入り千円近いフィルムが中々手に入らない。新宿、上野、有楽町と量販店に何度も足を運ぶがない。あっても一箱しか売って貰えない。品薄でネットで高く転売されるので、一人一箱しか売れない。いつ入荷するかもわからないという。本体を売っておきながら、売るフィルムがないのはおかしい、富士フィルムは供給責任がある。店もフィルムがないカメラを売るのはおかしい！と声を張り上げるが、埒が明かない。

どうにか手に入った10枚入り3、4箱のフィルムを鞆にバングラに飛ぶ。首都ダッカのスラムの「小学校」の授業を参観、クラス全体を写した一枚を先生にあげる。みな目がキラキラして可愛い。「ギブミーチョコレート！」と叫んでいた頃の日本の子供もこんな感じか！抱きしめてやりたいほど可愛い子を撮ってやると、自分も！と、あっという間にフィルムは底をつく。かつてインドのスラムで可愛い子の写真を撮ってやると自分も！と皆手を上げ、逃げ出したことがあった。20人くらいの子供が追い掛けてくる、必死で逃げた。今目の前にいる子供達はその頃と違って、カメラのついたスマホを持っているが、写して欲しくなるよう。子供と異国の爺さんの距離を縮める不思議な効果。

チェキとの出会いは随分昔のことだ。東大三鷹寮の一回り上の高橋英雄先輩の紹介で、入寮同期、カメラとフィルムが売れなくなりどん底だった富士フィルムをデジタルと化学の会社としてよみがえらせた、中興の祖古森社長を紹介して頂き同席した役員の戸田さんから別れ際にチェキの大柄な仲間を頂く。古森先輩の右腕として副社長にまでなった戸田さんには色々とお世話になる。どうして高価なカメラをただでくれるのか不思議だったが、カメラはただで配ってもフィルムを使って貰って元を取るビジネス！

古森先輩は富士を去り、六本木の本社を訪ねても会社とは関わりがないという。先輩ならフィルムは供給せずカメラだけ売ることを許しただろうか？富士フィルムはフィルム供給責任を果たせ！果たせないならカメラを売るな！爆弾でも投込みたい気分である。

◎バングラデシュ、人材派遣とマイクロファイナンスと起業？

2月にNPO、PUSのバングラデシュスタディーツアーに参加。経済成長を続けるバングラデシュだが未だに貧しく、仕事も少ない。PUS 現地代表マスッドさんがバングラを豊かにするため、日本に人材派遣したいと話しているという。東大三鷹寮の後輩で人材派遣会社JQCの小松君（14年入寮）を誘い一緒にツアーに。日本で学び働いたこともあり、旅行会社経営のマスッドさんに会う。現地の大手職業訓練学校の幹部を紹介して貰い訓練の様子も見学。日本のホテルで働いたこともあるダッカの大手ホテル経営者にも引き合わせて貰い、経営する調理等ホテル関連の各種専門学校も見せて貰う。手広くファンドを運営するJQCのトップにも会い、その後マスッドさんの来日の際も打合せを重ねるが、余り進展していない。9月末マスッドさんが再び来日する。派遣の話しを進展させられると嬉しい。

国境越えの「出稼ぎ」より生まれ育った国で仕事があり、豊かになるに越したことはない。中間層が育ち始めハシナ独裁政権を倒し民主化したバングラでは、ノーベル平和賞を受賞した経済学者のユヌスさんが新政権のトップを務める。彼が始めたグラミン銀行はじめ女性達の小さな起業などを融資で支援するマイクロファイナンスが盛ん、大きなビジネスになっている。マイクロファイナンスのための資金を日本で募り、無職で貧しい人達が仲間と一緒に起業するのを助け、仕事をつくり、豊かになって貰うのは如何か？

日本では銀行にお金を預けても1%も利息がつかないが、経済の高成長が続くバングラデシュでの貸し付け利息は30%近く。為替も対円で有利に変化。中国の黄土高原で30年以上、緑化と脱貧困の活動をするNPO法人「緑の地球ネットワーク」の活動にも参加、当初1元5円だった為替が今や1元20円。バングラ経済が発展すれば利息は下がるが、為替差益も発生大きなリターン。その上でバングラの人々、特に女性が仕事を得て豊かになるのを手伝えればイスラムの男女差別解消につながる。為すすべもなく銀行に眠る日本のとりわけ高齢者の余資、老後資金を預かりバングラのマイクロファイナンスの会社にリスクを避け分散投資、高いリターンを得、日本に高配当、年金の足しにして貰うのは如何か？日本の高齢者も余禄があれば消費を楽しめ、需要不足の日本経済の潤滑油になる。

バングラでは紡績や縫製などの繊維産業が盛ん。バングラの田舎では鶏が元気に走り回り、少年の頃の秋田を彷彿とさせる。鶏を飼っている女性に融資して飼育羽数を増やし、卵や鶏肉を出荷するシステムもつくれないか？お互い豊かになれないか？と思う。🐔の思い付きは如何？全ては「思い付き」から始まる。

◎AI 習わぬ爺さん、営業でAI 覚え！？習うより慣れよ！

昨年起業した東大三鷹寮発 AI スタートアップ、(株)スパーク+の営業を手伝ってくれと、23年入寮の本田 CEO と黒田取締役様に頼まれ、7月から営業顧問に。日本のAI研究の第一人者、スタートアップを輩出する東大工学部「松尾豊」研究室発のベンチャーでもあり、最新のAIの知見に詳しい。

古巣の高橋カーテンウォールや駒場の中国語クラス1年先輩の阪本さんがオーナー社長の化粧品会社ピアス、JR東日本設備（保全）部門統括の玉川常務などにつなぎ、「🐔さんの案件は話が早い」と喜ばれる。営業先不案内の若者を助け、「若僧」の信用補完に役立っているのか？昵懇の奥村組倉重代表取締役専務にも繋ぎ、能代代高校同期高松君が創業社長、社員1600人、年商200億円のIT企業(株)テクバンとのコラボ協議も進む。

駒場で中退、すき家を創業したゼンショウ小川会長、S43年入学の2年下、1回しか会ったことはないが、通信は送る。「家のカミサンはさんの会社ですよ！」と言う。S45年東大入学の奥さんはと同じML派だと。45年は丸ごと未決で中野刑務所の独房に収監されていて、残念ながら彼女のことは知らない。今度社長に昇格した次男の洋平さんも法学部卒、小川家は東大一家。団塊世代の若者は社会的課題を政治的に解決しようと権力に闘いを挑み地にまみれた。現代の若者は社会課題を起業で解決しようとする。小川会長は「世界から飢餓を無くす！」と、二度目は起業で社会課題のグローバル解決を目指す。スパーク+の若者に共感しないか？「旬」のAIなので、建築営業で築いたネットワークの、コロナ禍でついた錆びを落としがてら、老骨に鞭打ちスピーディに応援したい。

◎AI時代の到来、その仕組みと新しい文明、マルクスの夢

爺さんには目から鱗だが、AIを自家薬籠中のものとして活用される皆さんにとっては当たり前の話し。学士会報（旧帝国大学連合同窓会機関誌、日本唯一の文理総合学術雑誌）最新号（974号）の甘利俊一先生（日本のAI研究の第一人者、東大工学部松尾豊教授の、学問筋としては“お爺さん”？）の小論文が新鮮に映る。彼が考えるAIが実現する人類の未来が、マルクスの説く「共産主義」の未来と酷似するのに驚く。

「AI時代の最大の問題は、『AIは仕事を奪うのか。・・・より高度な仕事に就けるのか』・・・最悪の回答は、『人間はベーシックインカムを受け取って、遊んで暮らせばいい』です。これは人類の自己家畜化をもたらします。労働は本来人間にとって喜びです。・・・遊びと仕事が一体化して人の生きがいとなるのが理想です。AIによってそんな未来社会を実現すれば、人は自分の可能性を最大限に生かし、人生を謳歌し、アマチャ科学者、芸術家、スポーツ選手などが増え、生産性も上がるでしょう。それには遊び心が重要で、まずは遊ぶこと」と彼は説く。78歳で「遊ぶように働く」、かつてのマルクス少年はマルクスの代表作の一つ「共産党宣言」そのものではないか！と思う。岩波文庫に訳本があり4、50ページ。昔は「マルクスを読まざれば、学生に非ず」と言われる。騙されたと思い手に取り、「己の欲する処に従い則を超え」ない（孔子）人生を共に目指すのは如何？

甘利先生の小論文の次の論文が「ブラックマター」、併せて宇宙と人類の成り立ちとその未来について考えさせられる。イーロン・マスクのような少数の「天才」が、知識と富を独占するのではなく、80億の人類が等しく富と知識、思考する時間を共有することで、生産性が飛躍的に発展、膨張する灼熱の太陽に地球が飲み込まれる前に人類は地球を脱出、パンツを履いた猿は、広い宇宙に新たな人間居住環境を獲得出来る。一足飛びに光の速さを超えるスピードの移動手段を獲得するのは無理かも知れないが、今の科学の力でも火星には数年で移動可能。200万年前、二足歩行し火と道具を手にしたパンツを履く猿は、地球より太陽から遠く離れ、薄いながら大気のある火星に取敢えず人間居住環境を実現、万年、億年単位の余裕を得ることで、宇宙の大海原に新天地を求め再び旅立つ。

マルクスは理想に至る方法につき語ることなく世を去る。彼が考えた資本主義経済と自由・民主主義が高度に発展した先進国イギリス、フランスではなく、遅れた農業国家ロシアと中国で「社会主義」革命が勃発。社会主義の基礎の存在しない両国で、社会主義は実現出来ず独裁国家の醜悪な姿を晒す。甘利先生が説くように、AIが人間にとり「理想郷」を実現するにしても、人類の歴史は「階級闘争の歴史」。結果「豊かな社会」が実現、

働く者も成長の果実を手にし思考する時間を獲得、市場が広がり世界は更に豊かになる。AI が可能にする生産性向上の成果をマスクやトランプのような、一握りの強欲な資本家共に篡奪させるのか？働く者が手にし貧困と「苦役」から解放され、広く得た時間と知識・技術で更に生産性を向上、「樂園」を実現するのか？グローバル市場という地理的フロンティアに代わり、AI という新しい科学技術が実現する新フロンティアの独占を一握りの強欲な資本家に許し、階級と格差が悪無限的に再生産するのを許していいのか？

◎孫3人と白神素潜りツアー、爺さん不覚！

夏恒例の故郷白神素潜りツアー、お盆休みが始まる8月9日(土)より1日早い8日から11日(月、休)までの短い旅。8日朝娘の小5の孫息子と勝ちどきからバスに乗り、千葉に住む息子の社会人2年目の孫娘、大学2年の孫息子と東京駅の駅弁売り場で合流。🐟は好きな深川めし、それぞれ好みの駅弁を手には旅は始まる。小5の孫息子が伊豆の全寮制の中央区立宇佐美小学校から帰る時は、🐟を交え皆で一緒に食事を楽しむ娘の高1の孫娘は、海で肌を晒すことを嫌い？不参加。従姉弟3人ボックス席で屈託ない。孫達にも白神とは違う男鹿半島の海岸線の美しさも見せたい。名勝寒風山に登ると夕方までに能代に着かない。秋田駅で借りたレンタカーは時折雨が降りつける海辺の道をひた走る。千葉の孫達は断崖から見晴るかす大海原の絶景に歓声。人気の入道崎も割愛、海から少し離れて走ると大小の風車が乱立、再生エネルギー街道が再び始まる。秋田港から男鹿にかけても巨大な風車が林立するが、風光明媚な男鹿の海岸線に風車はない。親戚の婆さんが次男と経営する米代川の川畔、べらぼう川床に旅装を解く。白神山塊を背に悠々流れる米代川と居ついた野良猫も孫達は気にいったよう。婆さんの吊れ合いと長男が、能代市街の中心柳町で経営する人気の居酒屋べらぼうで賑やかに夕食。マスター心尽くしの鱒鮓、珍しいご飯の赤鮓や燻りガッコ、とんぶり長芋など秋田の味が続く。🐟が苦手なふにゃっと旬のプリンプリンの大岩ガキも、孫達は美味しいとにっこにこ。

二日目泊まる筈の秋田の海岸線の北端集落岩館の、「郵便局の家」では三つ年上の三兄が7月に軽い脳梗塞で入院、お昼だけ頂く。明治から4代続く「家業」の郵便局長は兄の代で終わる。大学受験に失敗親の言うまま宅浪、郵便局長の「家業」を継ぎ務めあげ、畑仕事や山仕事を楽しみ、趣味の銘木三昧の平屋の素敵な庭付きの新居で悠々自適の兄。親の言に従わず勝手に上京、駿台予備校に入り一浪で東大文I合格、学生運動に走り駒場の教養課程に7年在籍、7回臭い飯を食い、70年は丸ごと中野刑務所の独房に未決拘禁、40歳までフリーター、10年間サラリーマンの後独立、晴海のタワマンに住み、低年金で78歳の今も老後レスで働く末弟。茸や山菜、前日は日本海を我物顔で泳いでいた魚達。中学校で一年上の素敵な姉の手作りの自然の幸が美味しい。ミズ(ウワバミ草)が出色だが、みそ汁、キンピラ、漬物、叩いて三杯酢やショウガ醤油、お浸しにしても美味しい。全国の清水流れる沢で春から秋まで採れるが、名前のせいか？他では食べたことがない。

村外れの海水浴場の入口、海辺の民宿井川さんに急遽宿を取り、秋田で大家業の末妹、精神科医の姪、小4の孫娘と合流、一年振りの日本海を皆で楽しむ。荒れ気味の沖合でサザエの群れを発見した🐟、寄せる波に抗い二つほど手掴みにするが、孫達を呼び素潜りを手ほどきするには波が荒く諦める。綺麗な夕焼けが日本海に沈み、サザエのつぼ焼きを筆頭に白神の魚介で地酒を楽しむ。三日目の朝、村外れのチゴキ岬の白い灯台の立つ断崖

の下海辺、何組も車を停めてバーベキューなどするキャンプスポットに日除けのテントを立て入江で海水浴、網で小魚やカニも追う。🍄は珍しく便秘に悩みドラッグストアに車を走らせる。絶景のチゴキ岬の断崖に上る。左能代方を見れば白い風車の林立する近代的再エネ海岸、右深浦方を望めば息をのむ白神の雄大な海と山。子供の頃から白く端正に屹立する灯台の先、空とのあわいまで青のバリエーションが無限に続く大海原。

絶景のオンパレードを楽しみ、妹達と別れ県境のイカ焼き食堂で絶景ランチを楽しもうとするが長蛇の列。国道 101 号を少し戻り、参勤交代の津軽の殿様が驚嘆したという名水の道の駅お殿水の食堂に席を確保、一時間は待つという。名勝十二湖の登り口にも食堂がある、再び県境を越え車を走らせる。1100 円の魚定食には焼魚、煮魚、刺身とサザエのつぼ焼き、お新香とワカメのみそ汁の他にモズク酢まで付く。🍄は 900 円の醤油ラーメンを頼み後悔。どこの食堂も人手不足、洗えない食器を積み上げ、爺婆が汗タラタラ働く。秋田の夏の風物詩「婆へらアイス」の婆さんも健在。老人天国？江戸時代の大地震の山崩れで川が塞がれ沢山の湖が出来た十二湖、とりわけ神秘的な青池に見入り黄金崎の不老不死温泉に泊まる。日本海に沈む夕陽を海辺の泥湯の露天風呂で眺める温泉は素晴らしいが、料理は飛びつきり不味い。翌朝向能代の専業農家の四番目の姉の新居に初訪問。かつて仲間と二人で 30 町歩の大豆畑を耕し、85 歳を超えた今も一人元気に 9 町歩耕す義兄。レンタカーを秋田駅で返し、迎いの整形外科医の婿殿の車で妹宅に。昼から大宴会。

🍄は体調不良で不完全燃焼も皆さんは楽しめたよう。来年は元気にリベンジしたい。3 日も無策で苦しまず下剤に早く思い至れば良かった。酸化マグネシウムは旅のお供にしたい。来年は秋田の妹達に鍋を用意して貰い、湧水の近くに竈をつくり、流木集め火を起こしサバイバル教室。豚肉や塩鯨、茄子、玉ねぎ、味噌を用意、出来れば捕れたさざえやアワビもぶち込み、貝焼き（かやき）鍋を囲んでオニギリを食べ、ビールで乾杯したい！孫息子も車の運転免許を取るといふ。夏恒例、一族総出の鍋っこ遠足の真似ごとで楽しみたい。食堂を探しウロウロ時間を空費するより、野趣溢れる貝焼き鍋がいい！

◎杏仁と化粧品、生薬、25 年夏中国黄土高原植樹ツアー

30 年来の「定点観測地」黄土高原へ！NPO 法人「緑の地球ネットワーク」(GEN) 主催の植樹ツアーにコロナ後初参加。21 人中「アマダイ通信」読者が三鷹寮の 5、6 年先輩の松葉さんご夫婦と 14 年入寮の小松君、団塊ネットの女性の仲間 2 人。珍しく雨続きで中止のスケジュールもあったが、楽しく得るところも多かったよう。JAL で 22 日朝羽田発、27 日夜羽田着。北京から河北省張家口市蔚県までは高速バスで 3 時間、帰りは山西省大同市から高速鉄道で北京まで 2 時間。降雨量の少ない、砂漠化した乾燥地には珍しく雨天続き、現地での植樹や農家での交流など出来ず残念だが、この十年ほどの緑の増加には目を見張る。都市部のマンションの「コンクリートの林」の増加のほども、想像していたとは言え驚く。地方党官僚の功績合戦であつという間に四通八達した高速道路だが、北京以外のサービスエリアの寂しさ、トイレなどの施設の貧弱さも目につく。未完成で放置されたタワマンの多さ、不動産不況も日本での報道の通り。キャッシュレスが進むという割には Wi-Fi 付きの VISA が使えなかったり、ウォルマートなど色々な所で現金が使え安心。

初体験の中国版「新幹線」で大同から北京（清河駅）まで丁度 2 時間。10 両編成、時間 4、5 本間隔でほぼ満員、揺れ、騒音も少なく快適。チベットの天空列車などこれまで乗

った中国の鉄道と違い、トイレも臭気がしたり、見ただけでゲップが出たりはせず、ステンレス製で水洗され綺麗だが、ウォシュレット付き、充電ジャック付きの日本の新幹線に比べると物足りない。一列五席は変わらないが席が少し狭い。車窓から見る耕作不能な山の斜面には至る処太陽光パネルが張られ天に至る。「内巻」とも言われる「殺到する経済」の過当競争、過剰投資。結果世界市場を独占。清河駅のホームで仮名混じりの GEN の団旗を、日本人とわかるので下すよう駅員に言われ、現地の雰囲気的一端も知る。

昔のはげ山の黄土高原を知る人間にとっては驚きの緑の多さ。日本の緑化団体による緑化協力、共産党と政府による緑化促進政策の賜物でもあるが、それ以上に経済の高度成長により水と緑の少ない貧困地域での耕作と放牧、居住を止め森に戻す「退耕環林」政策の影響が大。格差拡大しながら経済成長の恩恵は底辺にも及ぶ。大同はかつての北魏の都、緑溢れる豊かな所。人が集まり栄えると食糧を得るため森を開き畑にし、家を作るため、煮炊きするため木を切り倒し、禿げ山と化し保水力を失い、人間は住めなくなる。かつての四大文明はこうして滅ぶ。四大文明発祥地の一つが、歴史上初めて復活するのを目撃しているのか？インドも続くか？自然を破壊し「悪さ」をする人間がいなくなれば自然は復活する。ここまで緑が増えると、日本で資金を集め更なる緑化協力をする必要があるのか？という声も。蔚県で見た荒地に見事に根付いた杏畑のように、国営企業や日本の三セクのようなものかも知れないが、特定の会社が土地所有権を持ち、果樹園を経営、働く村人の仕事の創出にはなり、村全体としては豊かになっても、利益は特定の企業に帰属するのは違和感も。利益の一部を何らかの形で頂き、運動体として経済的に自立、拡大再生産、政府間とは違う草の根の日中友好を続けられないか？

仮に（株）GEN のようなものをつくり、化粧品や漢方薬の原料になる杏の核（杏仁）を日本の化粧品会社や漢方薬メーカーに売れないか？個人的にはピアス化粧品のオーナー社長の阪本さんは駒場の中国語クラスの一年先輩で色々お世話になる。三鷹寮で二年下の勝部君の奥さんはメナード化粧品創業者のお嬢さんで彼女の弟が社長、彼女も役員。勝部君は GEN 創始者、三鷹寮同期で●の前の寮委員長高見君と同じ、名門米子東高出身。八森中学、能代高校同期の加賀君が龍角散の役員だったご縁で、ふるさと八森で生薬の栽培が始まり、秋田県産の生薬を使ったのど飴を龍角散はテレビ CM で宣伝。加賀君は龍角散退職後も東京生薬協会で活躍。伝も活用し化粧品や漢方薬の原料として杏仁を販売、利益で緑化を進められないか？杏の苗を自前で生産、品種改良し大同での杏栽培を成功させたが、苗の栽培と販売でも収益を上げ、日本から持ち込んだ寄付金に依存するのではなく、自前で運動を再生産、そのノウハウで世界の乾燥地を再び緑に出来ないか？

◎この道はいつか見た道

夏休みも残り少なくなり、山中湖の忍野村に中国から里帰り、来年夏には思想統制が厳しくなるばかりの国から妻子帯同で「潤（=run）日」する予定の、北京の外語大の教員、99 年三鷹寮入寮の津田君が、羽田に奥さんを迎えに行く途中、夕方晴海の我が家に立ち寄り、オリンピック村（晴海フラッグ）入り口のプチモールららテラスのロイヤルホストで、富士山ナンバーの車の運転手のお袋さん、活発なお坊ちゃんも一緒に食事。

先端技術産業での米中覇権争いが華々しく報じられる中国経済だが、不動産不況は更に悪化、地方政府の収入も直撃するが打つ手もない。失業率が高まり景気は悪化、病院は

患者で溢れかえる。健康保険が未整備なのでがんにでもなったら家計はアウト。北京の銀座王府井は人通りも少ないという。黄土高原植樹ツアーは北京を素通り、前回開店休業だった高速道路のサービスエリアのガソリンスタンド、スーパー、ホテルも開いていたのはガソリンスタンドだけ。建設中だった新幹線はほぼ満席だったが、10両編成と短く時間4、5本くらいと本数も少ない。失業率も高く受験競争が激しい割には、北京大や精華大など超一流大学を出ても中々就職出来ないという。同行の通訳の息子さんも全国で20%の成績優秀者には入らず、いい就職は望めず日本留学を検討中という。焦る習近平は独裁を強め、思想統制、情報弾圧を進めるが自由の抑圧と過酷な受験競争、就職難を嫌い、富裕層を中心に外国移住や留学を目指す者が増え、円安で移住しやすく、安全、安心、便利な日本にも「潤日（ラン〈=run〉ルー）」、東京のマンション価格高騰にも一役買う。

先端技術や宇宙・軍事などに重点をおき、日米欧と対等に競争出来ているように見えても下水やトイレなど衛生部門は不備。軍備、思想統制は強化されても健康保険や年金、子育て支援は進まない。人口が多くグロスではアメリカに次ぐGDPでも、一人当たりでは世界50位半ば（日本は38位）、格差も激しくなるばかり。国民が争って国を棄てる国家に未来はあるか？先端技術と軍事で西側と覇権を争っても民心が離れ崩壊した、ソ連の辿った道を中国も歩み始めていないか？厳しい情報統制でさやかにはみえないが。

◎老後設計のために！老人ホーム、一つの現実

妻がサニーライフ板橋徳丸に戻り毎月の引き落としが7月末177487円、8月末176796円。8月のそれぞれ隔月振込みの妻の基礎年金が93664円、42年間学校栄養士として働いた東京都教職員共済年金が253085円、月毎で173274円。月次では3、4千円の赤字。退職金の一部500万円を一時払い、要介護2以上になるとソニー生命から毎年終身年金保険金800066円が振り込まれ黒字。病気や怪我で長期入院すると高額でも医療費はある程度健康保険がカバーするが、差額ベッド代はカバーされず困る。黒字分は不測に備えストック。ヒューマンサポート柏の葉では施設への支払いだけで公的年金とソニー生命の年金保険の給付を越え、出費続きで大赤字、頭を抱える。サニーライフでは黒字で安心だ。

年明け介護付き有料老人ホーム、サニーライフ板橋徳丸に転所、一週間ほどして幻聴や幻視はレミー小体型認知症によるものと看護婦さんが適切にアドバイス。認知症専門の精神科病院に3ヶ月入院、5月の連休中に退院し戻る。幻覚は消え、手足の震えなども緩和、すこぶる調子がいい。6月には白内障手術も。通常は片目ずつ日帰り手術だが、施設入所なので万一の場合に備えそれぞれ一泊。入退院に付き添うが、面倒な病院への車での送迎はサニーライフが無料でしてくれ助かる。ヒューマンサポートではそれぞれ別料金で、付き添いは10分千円と、費用がかさみ世知辛い。ヒューマンサポートにも看護婦がいるが、妻の幻覚がレミー小体型認知症のせいだとわからず、幻覚で悲鳴を上げたり、助けを求めたり、手のかかるお客さんということで、出ていってくれと言わんばかり。

入所一時金なしの介護付有料老人ホームで、サニーライフが一番費用が安いと思う。それでも短大卒で42年間働いた妻の公的年金額以上の費用が必要。共働きで妻は自分の年金を自分で全部使えるが、片働きだとそうはいかない。蓄えを取り崩すなどするか？在宅での介護を頑張るしかない。介護施設も色々あるが、いずれにせよ中々厳しい。健康で老後レス、いつまでも働くのが一番いい。労働は神によって課された苦役だと考え、早期

退職でハッピーリタイア！を望むクリスチャンと違って、日本人は労働を自己実現、他人の役に立つ手段と考える者が多い。人間は社会的動物、肉体的精神的健康のためにも体力、気力の程度に見合った勤労と社会参加の場が欲しい。

◎東大三鷹クラブ歌舞伎観劇会 (2025. 06. 07)

参加者は奈木麻里亜 (2024・文Ⅲ・城南)、ウ ミンロウ (2024・化学システム工学・台湾)、西沢文孝 (1995・文Ⅲ 文・洛南)、🐟 (1966・文Ⅰ 法・能代)。

◎東大三鷹クラブ定例世話人会・懇親会 (2025. 06. 14)

事務所参加者は横字史年 (2015・文Ⅲ・岡崎)、松沢陽一 (1968・理Ⅰ 工航空・高岡)、🐟、打林國雄 (1965・理Ⅰ 工都市工・富山中部)、辰紘 (1965・文Ⅰ 養教養国際関係論・三国丘)、オンライン参加者は口木成洋 (2024・文Ⅱ・長崎西)、久米知之 (1994・文Ⅰ 法 院公法・東大寺学園)、飯田徳松 (1966・文Ⅲ 農農業経済・上野)、懇親会のみ参加は井上祐太郎 (2025・理Ⅱ・大分上野丘)、小埜祐太 (2025・文Ⅲ・明善)。

◎東大三鷹クラブ歌舞伎観劇会 (2025. 07. 21)

参加者は奈木麻里亜、園田夢之介 (2015・文Ⅲ 養学際科学・帯広柏葉)、西沢文孝、豊澤佳弘 (1975・文Ⅰ 法・高松)、🐟。

◎納涼きりたんぼパーティー (2025. 07. 26)

参加者は山腰柗真 (2024・(京大経済) 院経済学研究科・北野)、大内颯人 (2023・文Ⅰ 法・甲陽学院)、岳駿輔 (2023・文Ⅱ 法・福大大濠)、田中悠飛 (2023・理Ⅰ 電子情報工学・洛北)、田仲佑将 (2023・文Ⅱ 経経営学科・大分上野丘)、本田純平 (2023・理Ⅱ エシステム創成学科・UWC ISAK Japan)、藤田欣哉 (1995・文Ⅲ 文行動文化社会心理学・札幌光星)、田中清文 (1976・理Ⅰ 養基礎科学・甲陽学院)、勝部日出男 (1968・文Ⅰ 法・米子東)、🐟。

◎『八峰町ワーキングホリデー訪問』激励会 (2025. 08. 20)

参加者は金木良太郎 (2025・文Ⅰ・仙台第二)、劉康文 (2025・文Ⅲ・両国)、内平耕作 (2024・理Ⅱ・千葉)、🐟。

◎春風亭昇吉芸歴 20 周年記念独演会 (2025. 09. 01)

参加者は浦田晃成 (2025・文Ⅰ・甲陽学院)、木村凜太郎 (2025・文Ⅰ・静岡)、宮本康平 (2012・文Ⅰ 法 東大法科大学院・筑紫丘)、田中克幸 (2003・理Ⅱ 農応用生命 新領域科学研究科・東筑)、西沢文孝、佐藤昇 (1988・文Ⅱ 経・久留米大附設)、小島敏郎 (1967・文Ⅰ 法・旭丘)、🐟、吉川仁 (1966・理Ⅰ 工都市工・諏訪清陵)。

◎「思い付き」から全てが始まり、思い付きが世の中を変える！

ニュートンがリンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を思い付き物理学が発展。世界を大きく変えた思いつきだが、世の中では「それは単なる思い付き」と無視されることも多い。🐟も色々なことを思い付き、公表、実行に移すことも多い。初期段階のアイデアだから、実現しないことも多々。実現しようと更にアイデアを練り敢えて実行に移すプロセスは楽しい。人はそれを「物好き」という。今回の「物好き通信」でも幾つか披露。思い付きが多い人とその人生は楽しい。男女の仲も「好き」と思いつくことから始まる。恋も起業も一人では出来ない。🐟と協業する好き者が現れると嬉しい。再見！